

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科		言語聴覚士学科昼夜間部		科 目 区 分		専門分野		授業の方法		講義実習	
科 目 名		高次脳機能障害 I		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		30 (1) 時間(単位)	
対 象 学 年		1年生		学期及び曜時限		後期 6,7時限他		教室名		401	
担 当 教 員		井島 洸佑		実務経験とその関連資格							
《授業科目における学習内容》											
高次脳機能障害について医学的観点から基礎となる知識を習得する											
《成績評価の方法と基準》											
定期テスト100% (試験素点が60点以上を合格とする)											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
授業は資料を配布し、PCスライドで授業を行う、また適宜小テストを行う 参考図書:標準言語聴覚障害学 高次脳機能障害学―第4版― 医学書院出版株式会社											
《授業外における学習方法》											
事後学習として、障害名と症状、その評価法について押さえてください。											
《履修に当たっての留意点》											
脳の機能局在や高次脳機能障害の基本的知識を学び、生活の中でどのような困難さがあるのかをイメージしてください。											
授業の方法		内 容					使用教材		授業以外での準備学習の具体的な内容		
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標		高次脳機能の基本概念、神経心理学的な考え方について述べることができる			・ PCスライド ・ 配布資料 ・ 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく			
		各コマにおける授業予定		高次脳機能の基本概念、神経心理学的な考え方について学ぶ							
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標		視知覚・視覚認知障害の種類・病巣・症状について説明できる			・ PCスライド ・ 配布資料 ・ 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく			
		各コマにおける授業予定		視覚認知の障害(視覚性失認など)について学ぶ							
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標		聴覚認知の障害、触覚認知の障害、身体意識・病態認知の障害について説明できる			・ PCスライド ・ 配布資料 ・ 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく			
		各コマにおける授業予定		聴覚認知の障害、触覚認知の障害、身体意識・病態認知の障害について学ぶ							
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標		半側空間無視の原因と発症メカニズム、症状について説明できる			・ PCスライド ・ 配布資料 ・ 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく			
		各コマにおける授業予定		視覚空間認知の障害(半側空間無視など)について学ぶ							
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標		地誌的見当識障害、パリント症候群、構成障害について説明できる			・ PCスライド ・ 配布資料 ・ 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく			
		各コマにおける授業予定		視覚空間認知の障害(地誌的見当識障害、パリント症候群、構成障害など)について学ぶ							

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	動作・行為の障害(観念運動性失行、観念性失行など)の症状について説明できる	- PCスライド - 配布資料 - 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく
		各自でにおける授業予習	動作・行為の障害(失行などの障害)について学ぶ		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶の分類、記憶障害の原因・症状について説明できる	- PCスライド - 配布資料 - 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく
		各自でにおける授業予習	記憶の障害(記憶の分類、発症メカニズム、症状)について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	記憶障害の評価・リハビリテーションについて説明できる	- PCスライド - 配布資料 - 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく
		各自でにおける授業予習	記憶の障害(記憶障害の評価・リハビリテーション)について学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	前頭葉機能症状の種類・症状・病巣について説明できる	- PCスライド - 配布資料 - 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく
		各自でにおける授業予習	前頭葉と高次脳機能障害について学ぶ		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の側性化と脳梁離断症状の種類・症状・病巣について説明できる	- PCスライド - 配布資料 - 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく
		各自でにおける授業予習	脳梁離断症状(左半球優位症状、右半球優位症状)について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の定義、種類・症状・病巣について説明できる	- PCスライド - 配布資料 - 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく
		各自でにおける授業予習	認知症(定義、原因疾患)について学ぶ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症の種類と症状、評価、ケアとアプローチについて説明できる	- PCスライド - 配布資料 - 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく
		各自でにおける授業予習	認知症(種類と症状、評価、ケアとアプローチ)について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳外傷による高次脳機能障害、認知コミュニケーション障害について説明できる	- PCスライド - 配布資料 - 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく
		各自でにおける授業予習	脳外傷による高次脳機能障害、認知コミュニケーション障害について学ぶ		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまで学んだ高次脳機能障害(視覚性失認、半側空間無視など)について知識と事例の統合を行う	- PCスライド - 配布資料 - 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく
		各自でにおける授業予習	高次脳機能障害(視覚性失認、半側空間無視など)の復習と事例検討		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまで学んだ高次脳機能障害(失行、記憶障害など)について知識と事例の統合を行う	- PCスライド - 配布資料 - 確認問題	事前学習として、参考図書である、テキストの該当項を一読しておく
		各自でにおける授業予習	高次脳機能障害(失行、記憶障害など)の復習と事例検討		